

# 中世哲学会研究機関誌投稿規程

## 1 投稿期間

- 研究機関誌発刊前年度の 12 月 15 日から 1 月 15 日まで。
- なお、本会よりの依頼原稿については上記制限の範囲外とする。

<細則>

- 1) シンポジウム関連原稿と一部の書評原稿が「依頼原稿」に該当する。それらの原稿の締切は、機関誌発刊前年度の 3 月 31 日とする。

## 2 投稿資格

- 当該年度までの会費をすべて納入済みの中世哲学会正会員に限る。

## 3 原稿の種類

- 投稿できる原稿の種類は下記の通りである。投稿者は、投稿時に、原稿の種類を指定すること。
- 投稿者が原稿の種類を指定していない場合、編集委員会がこれを判断する。

### 3.1 「論文」

- 一次文献の精確な読解に基づき、論理的首尾一貫性をもって執筆され、研究史の中で新たな貢献として位置づけられるもの。
- 上記の評価基準のどれか一つについて卓越しており、本機関誌に掲載することが有意義と認められるものを「研究論文」として掲載することがある。この判断は、編集委員会が行う。

### 3.2 「サーヴェイ論文」

- ある分野についての最近の研究状況を網羅的にまとめて紹介し、会員への情報提供に資することを目的とする論文。

### 3.3 「研究ノート」

- 主として、比較的短い原典テキストの文献学的分析など、論文の体裁は取らないが、研究上有益と認められるもの。

### 3.4 「討論」

- 本機関誌に掲載された論文その他についてのディスカッション。

### 3.5 「書評・文献紹介」

- 最近出版された書籍の紹介。

<細則>

- 1) 原則として刊行後 5 年以内を目安とする。  
なお、書評・文献紹介に価すると判断されるものについては、刊行後 5 年以上であっても候補書としてよい。
- 2) 紹介に際する記載必要事項として著者名、著書名、出版地:出版社（和書は出版地を略）、出版年、総ページ数、ISBN を明記する。

### 3.6 その他

- 「海外学会報告」など。上記以外のジャンルの原稿を投稿したい場合には、事前に本会事務局に相談されたい。

## 4 投稿の制限

- 前年度の本研究機関誌に論文・サーヴェイ論文が掲載された者は論文・サーヴェイ論文を投稿することができない。
- 同一年度に複数の論文・サーヴェイ論文を投稿することはできない。
- (1) 前年度の本研究機関誌に論文・サーヴェイ論文が掲載された者が、他の種類の原稿を投稿すること、および、(2) 同一年度に論文・サーヴェイ論文と他の種類の原稿とを投稿することについては、原則的にこれを制限するものではないが、この場合については、事前に本会事務局に相談されたい。
- なお、本会よりの依頼原稿については上記制限の範囲外とする。

## 5 原稿の書式

- 原稿のサイズは A4、文字の大きさは、10 ポイントから 11 ポイントとし、40 字× 40 行、横書きに整形する。
- 注や参考文献などもすべてこの書式にすること。注については、ワープロ等の脚注機能を用いず、本文末にまとめて、上に定めた書式で記すこと。
- ワープロ等の文字カウント機能などに頼らず、必ず投稿者が、実際原稿の文字数と行数を確認すること。

<細則>

- 1) 等幅フォントを用いて、1 行 40 字 (欧文文字は 0.5 字換算)、1 ページ 40 行でレイアウトすること。  
ワープロソフトを使用する場合、ページレイアウトで 40 字・40 行に設定していても、実際には、それ以上の文字数が含まれる場合がある。
- 2) ワープロソフトの脚注機能を用いず、本文末にまとめて記し、注は注番号が新たになる度に改行すること。  
なお脚注機能では、注部分のフォントサイズや行間隔が本文と異なることで 1 ページあたりの文字数が本文より多くなる場合がある。
- 3) 原稿において行間等を開ける場合、空白行も分量に含まれる。

## 6 原稿の分量

- 原稿の分量の上限は、上記の書式に整形した場合のページ数による。
- 「論文」「サーヴェイ論文」 10 ページ (原稿とは別に、400 語程度の欧文レジюмеを付すこと。)
- 「研究ノート」 5 ページ
- 「書評・文献紹介」 2.5～5 ページ
- 「討論」 2 ページ

## 7 投稿の方法

- 原稿は、中世哲学会ホームページの投稿フォームページからアップロードし投稿すること。

投稿フォームページ: <http://jsmp.jpn.org/activity/submission/>

- ただしなんらかの理由で困難な場合はメールによる投稿も認める。原稿（欧文要旨を含む）と、下記必要事項を記入したファイルとを添付した電子メールを、論文投稿用アドレスへ送付すること。

論文投稿用アドレス: **journal@jsmp.jpn.org**

必要事項:

- 氏名、ふりがな、郵便番号、住所、メールアドレス、電話番号
  - 原稿の欧文タイトル、投稿者の欧文氏名
  - 原稿の種類（論文、サーヴェイ論文、研究ノート、討論、書評・文献紹介、その他の別）
  - 論文内容を表すキーワード（3～5ヶ）
- 媒体（USBメモリなど）送付での投稿を希望する場合は、事前に事務局まで申し出ること。
  - 提出するデジタル原稿は、(a) PDFファイル、または (b) Microsoft Wordファイルとする。  
可能な場合には、(c) テキストファイルも提出すること。  
なお、複数のファイルを提出する場合には、ファイル間で内容上の相違がないように留意すること。
  - 手書き原稿、タイプ原稿、ワープロ専用機で作成した原稿等は受けつけない。
  - 原稿は、可能な限り『中世思想研究』原稿執筆のガイドラインに従って執筆すること。

## 8 審査

### 1. 論文・サーヴェイ論文の査読

- 査読は、編集委員会が査読者を決定して行なわれる。なお、査読者についての情報は非公開とする。
- 本規程の 1 投稿期間、2 投稿資格、4 投稿の制限、5 投稿の書式、6 投稿の分量、7 投稿の方法に記された条件を満たさない場合は査読の対象とならない。
- 査読結果は、(a) 採用、(b) 書き直し再投稿、(c) 不採用、の 3 種類とする。  
書き直し再投稿となった投稿者は、定められた期間内に当該原稿を書き直して再投稿することにより、再査読を受けることができる。
- 査読結果の通知は、4月中旬頃の予定。

## 2. その他の原稿の審査

- 上記受付期間内に到着した原稿について、編集委員会は審査を行なう。
- 審査結果の通知は、4月中旬頃の予定。

## 9 投稿の際の注意

- 原稿は原則として公刊されていないものでなければならない。ただし本会、および他の学会、研究会等で口頭発表のみが行われている場合には投稿を許可する。この場合には、論文の注などで、その旨を明記すること。
- 論文・サーヴェイ論文の投稿に関して、欧文要旨は、あらかじめネイティブスピーカーのチェックを受けることを必須とする。査読後、掲載が決定したのちにネイティブチェックの証拠となるもの（メール文面なども認める）を提出すること。

## 10 その他

- 投稿原稿の言語は原則として日本語とする。
- 本研究機関誌に投稿された原稿の著作権については、「中世哲学会著作権規程」に従う。
- 本規程の変更は、編集委員会がこれを行い、理事会に報告する。

【付則】本規程は『中世思想研究』第 63 号から適用するものとする。

(承認 2016 年 12 月 10 日 理事会)

(改定 2017 年 6 月 17 日 編集委員会)

(改定 2018 年 4 月 14 日 編集委員会)

(承認 2018 年 6 月 16 日 理事会)

(改定 2018 年 10 月 18 日 編集委員会)

(改定 2019 年 11 月 10 日 編集委員会)

(改定 2020 年 4 月 11 日 編集委員会)